



# やまな

袋井市立山名小学校  
学校だより No.9  
令和6年10月8日発行

10月に入り、朝夕の風によろやく秋の気配を感じる頃となりましたが、昼間はまだまだ暑い日が続いています。

子供たちは、毎日運動会練習に励んでいます。天候により、外での練習が思うように進められていませんが、昼休みには、室内や体育館で、応援団の練習や選抜リレーの練習を進めています。

今年度の運動会のスローガンは、

## 一人一人が きらい輝く 心に残る 最高の運動会

となりました。仲間と励まし合い、自分や友達の頑張りや良さに気付くことができる最高の運動会となることを願っています。

引き続き、感染予防対策を含めたお子さんの健康管理をよろしくお願いいたします。



### ☆10/1会礼での校長の話☆

10月になりました。9月の前半は真夏のように暑い日が続いて、外で遊んだり体育の授業を行ったりすることがなかなかできませんでした。それでも先週くらいから少しずつ涼しくなって秋らしくなってきましたね。季節が移り変わっていくことが感じられる時です。

さて、だんだん涼しくなってきたので、これまで思うようにできなかった運動会の練習も運動場でできる日が多くなると思います。涼しくなってきたとはいっても、まだまだ日なたは暑い時も多いと思いますので、給水や休憩をしっかりと、体調を崩さないように練習を頑張ってください。

今日は「最後まで頑張ることの大切さ」について、皆さんに一つのお話を紹介します。このお話は、先生が子どもの頃、4年生の国語の教科書に載っていたお話です。東京オリンピックの時のお話ですが、3年前ではなく60年前、東京で初めてオリンピックが行われた時のお話です。登場するのは「ゼッケン67番 カルナナンダ選手」、今のスリランカの選手でその頃は国の名前も「セイロン」と言っていました。



「ゼッケン 67」という話を紹介しました。あらすじは以下の通りです。詳細はお子さん  
から聞いてください。

東京オリンピック大会の5日目、激戦の1万メートル走で注目されたのは、最後にゴールしたゼッケン67のセイロン（現在のスリランカ）の選手。皆がゴールしても、たった一人で、周回遅れで真剣に走り続ける姿に、おもしろがっていた観衆も冷やかさなくなった。「がんばれ。カルナナンダ。」励ましの拍手がスタンドいっぱい広がる。ゴールしたときの拍手は、優勝した選手にも劣らなかった。

競技後、彼は明るく語った。娘が大きくなったら、自分は、負けても最後までがんばって走ったと教えてやるんだ、と。

今年の夏にもパリオリンピックやパラリンピックが開催されて、多くの日本選手が活躍しました。テレビを見ていると、メダルを取った選手ばかりが注目されていますが、メダルを取れなかったその他の選手もたくさん努力してオリンピック出場を勝ち取っているはずですね。「オリンピックは参加することに意義がある」という有名な言葉もあります。この「ゼッケン67 カルナナンダ選手」が、3周も遅れて最下位だったのに、多くの人に感動を与えた理由は何だったのかを考えたいですね。

10月19日には校内運動会があります。もちろん、運動が得意な人もいれば、苦手な人もいるでしょう。しかし、運動が苦手でも一生懸命頑張る姿はきっと輝いていて見る人の心に響くものがあるはずです。また、競技では十分に力を出し切れないことがあるかもしれませんが、応援で仲間を元気づけることもできるでしょう。競技も応援も最後まで一生懸命、力を出し切って、素敵な運動会になることを期待しています。



### 【9/26・代表委員会】

「山名っ子が、『相手の目を見て』『元気よく』あいさつするためにはできることは？」

を議題に、代表委員会が開かれました。山名っ子委員会を中心に、各学級の代表者や委員会の委員長が出席し、挨拶が広がる学校にするために意見を出し合いました。

子供たちの自主的な取組から、山名小に元気な挨拶がますます広がっていくといいなあと思います。



## お願い

### 【住居の変更・転出の予定】

住居の変更や転出等の予定がある場合には、早めに担任までお知らせください。

